

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和4年3月22日

事業所名 キラキラ倶楽部

| 4 | チェック項目 | はい | いいえ | 未回答 | 工夫している点 | 課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標 |
|--|--|----|-----|-----|---------------------------------------|--|
| 環境・体制整備 | 1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である | 4 | 3 | 0 | 子どもが落ちつける(落ちつくための)スペースも狭いながらある。 | 室内だけでなく牧場や体育館を利用し、個別または少人数で活動を行っている。 |
| | 2 職員の配置数は適切である | 4 | 3 | 0 | 子どもの状況により個別に体調の観察や対応を行っている。 | |
| | 3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている | 4 | 3 | 0 | ドアはスライド式になっている。玄関を除き段差のない構造になっている。 | 駐車場からのアプローチが砂利であるため車椅子利用児が自力で押すことが難しい。玄関の段差と建物外の砂利道は車椅子等利用者には移動しづらいため、個別にその都度対応する。 |
| 業務改善 | 4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している | 2 | 3 | 2 | 牧場とも連携し定期的に連絡会を持ち、子どもの状況を確認している。 | |
| | 5 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている | 5 | 0 | 2 | | 保護者、利用者の意見を参考に業務の改善につなげていく。 |
| | 6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している | 6 | 0 | 1 | | 法人のホームページで自己評価の結果を公表している。 |
| | 7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている | 5 | 1 | 1 | | |
| 適切な支援の提供 | 8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している | 4 | 3 | 0 | 定期的に施設内外の研修に参加している。 | |
| | 9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している | 4 | 1 | 2 | | 年度初めにアセスメントを行い、保護者や子どもの課題に沿った計画を作成していく。 |
| | 10 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している | 2 | 3 | 2 | | 施設内独自のアセスメントツールを作成している。子どもに合わせて必要な評価を行っている。 |
| | 11 活動プログラムの立案をチームで行っている | 5 | 1 | 1 | 活動前後にミーティングを行い、計画に反映させている。 | |
| | 12 活動プログラムが固定化しないよう工夫している | 6 | 0 | 1 | 基本的には子ども個々のやりたいことを話し合っ決めていく。 | 子どもの状態に応じて、レベルをあげたり、役割を持たせるように工夫していく。 |
| | 13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している | 2 | 2 | 3 | | 利用時間によって個別、集団で活動する内容を |
| | 14 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している | 6 | 0 | 1 | | |
| | 15 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している | 7 | 0 | 0 | | |
| | 16 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している | 4 | 2 | 1 | | その日のうちにできない時はあるが、翌日または次の支援にあたる前に、話し合いを行っている。 |
| | 17 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている | 6 | 0 | 1 | 毎回ケース記録を取り情報共有し話し合いを行って支援に活かすようにしている。 | |
| 18 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している | 4 | 1 | 2 | | | |
| 19 ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っている | 4 | 1 | 2 | | | |

| | | | | | | | |
|----------------------|----|---|---|---|---|---|--|
| 関係機関 や保護者との 連携 | 20 | 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している | 6 | 0 | 1 | | |
| | 21 | 学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている | 6 | 0 | 1 | 送迎時に担任の先生と子どもの様子について確認している。 | |
| | 22 | 医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている | 3 | 1 | 3 | | |
| | 23 | 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている | 1 | 3 | 3 | | |
| | 24 | 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している | 5 | 0 | 2 | | |
| | 25 | 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている | 1 | 3 | 3 | | |
| | 26 | 放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある | 0 | 5 | 2 | | コロナ禍でできていないが、今後検討していく。 |
| | 27 | (地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している | 4 | 0 | 3 | 必要に応じて出席している。 | |
| | 28 | 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている | 6 | 0 | 1 | 連絡帳の利用や送迎時に保護者とコミュニケーションえおとり共通理解を図っている。 | |
| 保護者への 説明責任等 | 29 | 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている | 0 | 4 | 3 | | 今後さらなる保護者支援が必要になってくると考える。 |
| | 30 | 運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている | 5 | 0 | 2 | 契約時に説明を行っている。 | |
| | 31 | 保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている | 5 | 0 | 2 | | |
| | 32 | 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している | 0 | 5 | 2 | | |
| | 33 | 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している | 5 | 0 | 2 | | コロナ禍でできていないが、活動発表会や講演会等を行い保護者に参加していただき、保護者交流ができる機会を作る。 |
| | 34 | 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している | 1 | 5 | 1 | 会報は発行していないが、活動中の写真や動画を保護者個々に見ていただいている。 | |
| | 35 | 個人情報に十分注意している | 6 | 0 | 1 | 情報管理は細心の注意を払い取り扱いには十分気を付けている。 | 今後も情報の取扱いについて定期的に事業所内で研修を行い個人情報の保護に努める。 |
| | 36 | 障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている | 7 | 0 | 0 | 絵カードや50音ボードを作成しており必要時は使用する。 | |
| | 37 | 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている | 0 | 5 | 2 | | |

| | | | | | | | |
|---------|----|--|---|---|---|---|-----------------------------------|
| 非常時等の対応 | 38 | 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している | 4 | 1 | 2 | | 保護者には周知できていないため、会報等で発信していく方法を考える。 |
| | 39 | 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている | 6 | 1 | 0 | 不定期だが防災・防犯訓練を計画実施している。 | |
| | 40 | 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている | 6 | 1 | 0 | 施設内外の研修に参加している。参加した職員による伝達講習を行い周知を図っている。 | |
| | 41 | どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している | 3 | 1 | 3 | 身体拘束については契約時にも説明している。また個別支援計画に記載し保護者に了承を得ている。 | |
| | 42 | 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている | 3 | 1 | 3 | 家族からアレルギーの有無について家族から利用時に聞き取りしている。 | |
| | 43 | ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している | 4 | 0 | 3 | ミーティングで事例を共有し対策を検討している。 | |